

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 宮城県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|---|-------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|-----------------------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 日本版畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 2経営体 | 2 | 100% | A | 241,260 | 241,260 | 令和2年度 目標達成済み |
| II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証等の取得経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和2年度、3年度、4年度、5年度及び6年度目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から引き続き指導している2経営体やそのほかにも日本版畜産GAPの取組について関心のある経営体に対して、制度概要の周知、県内認証取得事例の紹介、取組内容及びその効果の説明を行い、日本版畜産GAP認証取得を促したが、認証取得までには至らなかった。 | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度においても、依然として県内の死亡イノシシからウイルスが検出されている状況であり、当該経営体（飼養家畜：豚）は引き続き厳重な防疫管理を行う必要がある。このため、通常業務に係る人員がひっ迫し、管理マニュアルの作成等に人的リソースを配分できず、認証取得に向けた取組を進めることができなかった。また、令和6年度に作成した改善計画に記載のとおり、管轄家保に配置した指導員を介してほかの畜産GAPの取組について関心のある経営体に対して、指導等を実施したが、国際情勢の変化による飼料や燃料価格の高騰の影響で経営状況が不安定化し、本審査の受審に向けた準備を進めたものの、認証取得に向けた取組を推進する力を得ることができなかった。今後も当該経営体に対する継続的な指導のみならず他の地域や経営体に対しても認証取得に向けての支援を強化する。 | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>事業実施主体は、畜産GAP認証の取得拡大に向けて当該経営体へ指導を行ったが、豚の伝染病に対する防疫管理や飼料及び燃料高騰の影響により、認証取得に向けた取組を十分に進めることができなかったため目標達成に至らなかった。このため、事業実施主体に対しては当該経営体のみならず他の畜種や地域を広げて畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 宮城県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|---|-------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|-------------------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 日本版畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 1経営体 | 5 | 500% | A | 342,420 | 342,420 | 令和3年度 目標達成済み |
| II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和3年度、4年度、5年度及び6年度目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から引き続き、制度概要の周知、県内認証取得事例の紹介、取組内容及びその効果の説明を行い、日本版畜産GAP認証取得を促したが、1経営体の認証取得には至らなかった。 | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証の取得拡大について、令和6年度は指導員を確保し、認証取得に向けて管轄家畜保健衛生所に配置した。また、県機関及び関連団体のJGAP指導員による進捗確認等を実施したが、当該経営体（飼養家畜：肉用牛）が、畜産経営に関わる資材価格の高騰の影響を受け、経営の安定を優先したため、JGAP認証取得に取り組むための従業員を確保できず、進展が停滞した。今後も、当該経営体に対する継続的な指導のみならず、ほかの経営体に対しても認証取得に向けて支援を強化する。 | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>畜産GAP指導員の確保や認証取得に向けた取組に関する進捗状況の確認等を行い、認証取得拡大に向けて経営体へ指導を行うことができた。しかし、資材価格高騰の影響で、取組を十分に推進することができず、目標達成に至らなかった。事業実施主体に対しては当該経営体のみならず他の畜種や地域を広げて畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和4年度）

都道府県名 岩手県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|--|----------------------|----|------|----|--------------|-----------------|---------------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 日本版畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 6 | 43 | 717% | A | 346,500 | 346,500 | 令和4年度目標達成済み |
| II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証の取得等経営体数 1 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和4年度、5年度及び6年度目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <p>畜産GAP認証取得の目標については、認証取得予定だった1経営体が未だ認証取得に至っていないことから未達成となっている。</p> | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <p>認証取得予定だった1経営体については、食鳥処理場の新設、新農場の増設等の事業規模拡大を優先的に取り組んだことにより、認証取得を推進するための人員を確保できなかったため、認証取得に至らなかった。また、令和6年度は、研修会開催による認証取得を志向する経営体の掘り起こしや認証取得を志向する経営体に対する畜産GAP指導を実施したが、認証取得には至らなかった。今後も研修会開催や農場指導を通じて、認証の取得拡大に向けた取組を進めていく。</p> | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>畜産GAP等認証の取得拡大については、食鳥処理場の新設等に優先的に取り組んだことに伴う、人員不足の影響により目標達成に至らなかった。目標達成に向けて、事業実施主体に対しては、当該経営体のみならず畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和4年度）

都道府県名 宮城県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|--|-------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|-------------------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 日本版畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 2経営体 | 5 | 250% | A | 263,257 | 263,257 | 令和4年度 目標達成済み |
| II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証等の取得経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和4年度、5年度及び6年度 目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から引き続き、制度概要の周知、県内認証取得事例の紹介、取組内容及びその効果の説明を行い、日本版畜産GAP認証取得を促したが、1経営体の認証取得には至らなかった。 | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証の取得拡大については、個別認証の取得を予定していた経営体（飼養家畜：豚）において、取組に係る負担軽減のため、個別認証ではなく団体認証によるJGAP認証取得に切り替えることとしていたが、構成農場の1つとして引き続き個別認証取得を目指すとの意向もあり、適宜県機関及び関連団体のJGAP指導員による進捗確認等を実施したが、団体の中で方針がまとまらなかったこと、個別認証取得を目指していた農場も資材価格の高騰等の影響が大きく、認証取得に係る費用負担が嫌厭され、令和6年度内の受審には至らなかった。今後も当該経営体に対する継続的な指導のみならず、ほかの地域や経営体に対しても認証取得に向けての支援を強化する。 | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>資材価格の高騰等による社会情勢の影響を受け、畜産経営環境が厳しい状況になったため、畜産GAP認証取得拡大に向けた取組が推進できず、目標達成には至らなかった。事業実施主体に対しては当該経営体のみならず畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 宮城県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|--|-------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|-----------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 日本版畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 2経営体 | 5 | 250% | A | 577,564 | 577,564 | 令和5年度目標達成済み |
| II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証等の取得経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和5年度及び6年度目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から引き続き5経営体に対し、制度概要の周知、県内認証取得事例の紹介、取組内容及びその効果の説明を行い、畜産GAPを普及推進した。 認証の取得拡大として、1経営体の認証取得を目標としていたが、団体内の構成農場との足並みが揃わず達成に至らなかった。 | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度までは一部地域で指導員が不足する事態に陥ってしまっていたが、令和6年度は指導員研修により指導員を育成し、管轄家保に指導員を配置することで、重点地域を中心に広く県内の農場を支援する体制を構築できた。 認証の取得拡大については、適宜県機関及び関連団体のJGAP指導員による進捗確認等を実施したが、団体認証の取得を目指していた経営体（飼養家畜：豚）では、団体内の構成農場と足並みを揃えられなかった。加えて、構成農場のうち農場HACCPの更新審査を受審予定である経営体では、その更新審査に向けた取組を優先したためJGAP認証取得に向けた取組を進めることができなかった。また、全般として資材・飼料価格の高騰が継続しており、認証取得に係る費用負担が嫌厭され、取得への推進力を得られなかった。今後も当該経営体のみならず、ほかの指導した経営体に対しても継続的な指導を行い、認証取得に向けて支援する。 | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>畜産GAP認証の取得拡大については、団体認証の取得のため構成農場と足並みをそろえ体制を整えることが必要である。目標達成に向けて、事業実施主体に対しては当該経営体のみならず畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和6年度）

都道府県名 岩手県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|---|-------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|----------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導農業者数 4経営体 | 4 | 100% | A | 268,710 | 268,710 | 令和6年度 目標達成 |
| II 畜産GAP等認証の取得拡大 | 畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和6年度 目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <p>令和6年度は、指導者養成研修会等の参加により畜産GAP指導員4名及び内部監査員1名を育成、農場訪問等により4農場に対し指導を実施した。また、畜産GAPの理解を深めることを目的とした取組事例研修会を開催し、県機関・市町村・生産者等34名が参加した。</p> | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <p>「I 畜産GAP指導活動の推進」については、人事異動や指導員資格の期限切れにより県内指導機関に所属する指導員数が毎年変動するなか、新規に指導員及び内部監査員を育成することにより、畜産GAP指導体制が維持・強化された。また、2月に開催した取組事例研修会には、これまでGAPの研修会に出席したことのない生産者も参加するなど、畜産GAP認証制度について広く周知が図られた。</p> <p>「II 畜産GAP等認証の取得拡大」については、認証取得予定の1経営体において、委託生産先の農場でGAPの取組を進めることができず、認証取得を断念したため、目標を達成できなかった。今後、当該経営体の他に、別の認証取得を志向する経営体も対象として研修会や農場指導を実施し、認証の取得拡大に向けた取組を進めていく。</p> | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>新規に指導員4名及び内部監査員1名を育成することにより、指導員12名、内部監査員1名（令和6年度末）となり、県内における指導体制を強化することができた。また、取組事例研修会を開催することにより、畜産GAPの取組や認証制度について生産者へ周知し、県内における畜産GAPへの関心を高めることにつながった。</p> <p>畜産GAP等認証の取得拡大については、個別認証取得を目指している経営体（飼養家畜：肉用鶏）について、生産の工程を一部委託している農場でアニマルウェルフェアの取組方針等で合意に至らなかったため取組を進めることができず目標達成に至らなかった。そのため、事業実施主体に対しては当該経営体のみならず畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和6年度）

都道府県名 宮城県

| 目的 | 目標値 | | | | 事業実績 | | 備考 |
|---|-----------------------------|----|------|----|--------------|-----------------|----------------|
| | 目標値 | 実績 | 達成度 | 評価 | 事業費実績 (円) | うち交付金相当額 (円) | |
| I 畜産GAP指導活動の推進 | 畜産GAP指導 農業者数 2経営体 | 5 | 250% | A | 491,480 | 491,480 | 令和6年度 目標達成 |
| II 畜産GAP等 認証の取得拡大 | 畜産GAP認証等 の取得経営体数 1経営体 | 0 | 0% | D | 0 | 0 | 令和6年度 目標未達成 |
| <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 5経営体に対し、制度概要の周知、県内認証取得事例の紹介、取組内容及びその効果の説明を行い、畜産GAPを普及推進した。 指導員養成研修により、指導員を新規において5名（うち関係団体1名）及び更新において3名（関係団体3名）を育成した。 認証の取得拡大として、1経営体の認証取得を目標としていたが、達成に至らなかった。 | | | | | | | |
| <p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点地域の管轄公所を中心に、指導員基礎研修の受講により指導員資格を取得した指導員を配置することで、広く県内の農場を支援する体制を構築できた。 認証の取得拡大については、GAP認証取得計画経営体（飼養家畜：鶏）において、農場を訪問し指導を実施していたが、高病原性鳥インフルエンザの蔓延等を受け、支援を一時中断したこと、資材・飼料価格の高騰が継続しており、認証取得に係る費用負担が嫌厭されたことなどにより、取得への推進力を得られず、目標を達成できなかった。 | | | | | | | |
| <p>国による評価</p> <p>畜産GAP指導員の育成（新規5名、更新3名）により、指導員は15名（令和6年度末）となり、県内における畜産GAP認証取得を支援する体制を強化することができた。しかし、家畜伝染病の影響や資材価格の高騰等により認証取得に向けて指導が十分に行うことができなかつたため「畜産GAP等認証の取得拡大」の目標達成には至らなかった。目標達成に向けて、事業実施主体に対しては当該経営体のみならず畜産GAP認証取得に関心のある経営体に対しても認証取得に向けた取組を進めることにより、令和7年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p> | | | | | | | |